

故郷「蓬原」のよさを未来につなぐ「よもぎっ子」の育成

鹿児島県志布志市	●活動名 蓬原小学校運営協議会	●関係する学校名 志布志市立蓬原小学校
----------	--------------------	------------------------

協働活動開始年度	平成 30 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成30年5月11日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	地域未来塾	—	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	1人	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	1人	
ボランティアの数	延べ登録人数	613人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無
参考URL	http://424.ciao.jp/futsuhara-els/date/2019/12/					



●連絡先	志布志市教育委員会生涯学習課	☎ 099-472-1111
------	----------------	----------------

●活動の概要・経緯

地域全体で子どもを守り育てる活動を、校区公民館を中心に、学校、PTA、地域や関係団体が連携し、活動を行っている。地域行事である校区内神社の神舞や校区内集落の棒踊り等、地域の伝統芸能保存会員が指導者となり、子どもたちへの伝承活動に取り組んでいる。

また、青少年育成の日と定めている毎月第3土曜日には、校区公民館教養部が中心となって、教職員・長寿会やイチゴ生産者等を指導者に、『キラリ輝く「しぶっ子」育成事業(土曜体験広場)』を開催し、イチゴ収穫や天体観望会、芋掘りやミニ門松作り等多様な活動を展開している。

なお、平成30年度からは学校運営協議会が設置され、地域学校協働活動推進員も運営委員に委嘱されている。

学校応援団、青少年育成事業等、以前から取り組んでいた活動も、関係団体等との連携を図りながら、さらに充実した内容を展開している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ① 伝統芸能の伝承…担い手不足に悩む伝統芸能保存会が、学校で児童へ棒踊りや神舞を指導している。小学校・校区合同運動会やふつはらまつりにて、地域住民に披露することにより、伝統芸能を伝える機会となっている。地域の役に立ちたいと希望する教職員が伝統芸能を伝承する担い手もなっている。
- ② 地域全体で取り組む青少年育成活動…毎月第3土曜日に校区公民館が中心となって、教職員や長寿会、イチゴ生産者を指導者にイチゴ収穫や芋掘り、天体観望会、ミニ門松作りなどの体験活動を行っている。
- ③ 見守り活動…子供たちの登校時に校区内全ての自治会の代表者が通学路で立哨指導をするとともにあいさつ運動を行っている。

【実施に当たっての工夫】

校区公民館副館長が地域学校協働活動推進員となり、学校と地域とのコーディネート役を担っているため、担任からの授業支援の希望や職員からの要望が伝わりやすく、素早い対応が可能となっている。子どもたちも認識のある地域のサポーターのため安心して学習に取り組めている。子どもたちとの交流を楽しみにしているサポーターが増えている。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会において、学校教育活動の状況、PTA活動の共有、地域活動の報告等を行い、学校・家庭・地域の連携が図れるようになってきた。また、郷土「蓬原」地域の素材を活用した活動(文化財フィールドワークやいも作り体験、長寿会とのグラウンド・ゴルフ交流等)が関係団体の支援の元に充実できている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

校区公民館を中心に、学校、PTA、地域や関係団体の連携による多様な活動により、普段、学校教育活動で困難な体験活動にも取り組み、子どもたちにとって貴重な経験につながっている。さらに、これらの活動を通して、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」につながっている。

また、見守り活動として、子どもたちの登校日には、必ず横断歩道で安全確保に努めてもらっており、安全安心な登校につながっている。公民館活動としても校区内の全ての自治会の代表者が毎月通学路に立ち、子どもたちへの「あいさつ運動」に取り組む等、心豊かな「よもぎっ子」の育成に地域ぐるみで推進している。

●その他

青少年育成の日(第3土曜日)に地域活動を推進していることから、校区公民館教養部が中心となり、教職員・長寿会やイチゴ生産者等を指導者に、「キラリ輝く「しぶっ子」育成事業(土曜体験広場)」を実施している。イチゴ収穫や天体観望会、芋掘りやミニ門松作り等多様な活動を展開している。



地域の生産者から学ぶイチゴの収穫体験



地域の素材を生かしたミニ門松作り